

1. 地域とのかかわり

①福島県本宮市と日本大学経済学部との都市農村交流事業

- ・2004(平成16)年度 徳島県上勝町を訪問（農作業体験、地域づくりヒヤリング）
- ・2005(平成17)年度 福島県白沢村（現本宮市）訪問
村の現状と課題、取り組みを紹介、秋の直売会で学生がアルバイト
→学園祭での販売、地域の農業・農村について学ぶ、討論会の企画
- ・2006(平成18)年度 農家民泊、農作業体験の開始（集落の「開国」）
- ・その後の取組 ブランド米づくりと販売ルート構築
商店街の「一店逸品マップ」
コミュニティ FM 番組作成
- ・意識していること：
相互交流（往来する）、地域の多様な担い手が繋がる、他世代の交流、
- ・課題：地元での役場主導、毎年入れ替る学生（ノウハウの伝承問題）、費用負担

②財団法人地域活性化センター「全国地域リーダー養成塾」（資料）

- ・横の連携、縦の連携
- ・地域づくりに主体的に取り組む意欲と人脈と方法論が染み込む

2. 地域づくりに求められる2つの方向性

①「守り」の自治と「攻め」の自治（明治大学小田切徳美先生）

地域コミュニティは二つの性格をもつ

自治組織としての側面 集落・町内会による補完＝「守り」の自治

経済組織としての側面、手づくり自治区＝「攻め」の自治

→これらが重層的に重なっていることが必要

⇒「守り」の自治を続けるための人材・ノウハウ

⇒「攻め」の自治を進めるための人材・ノウハウ

3. 「組織には6種類の人間がいる」

（マーサー・ヒューマン・リソース・コンサルティング 柴田励司社長）

①リーダー（指導者）周囲に影響を与え、組織を動かす

- ②参謀 リーダーの横にいて、リーダーに対して助言しながら、リーダーを支える
- ③フォロワー（追随者） 言われたことをきちんとやる
- ④パラサイト（寄生者） 言ったこともやらなくて、何となく存在している
- ⑤キャンサー（ガン） 組織のなかで人々の関係をどんどん悪化させてしまう
- ⑥エイリアン（異端者） 組織の中では変なひとだが、何かのときに、突発的なことを提起し、組織の活力を生む存在。（コンサバティブな組織の中では排除される傾向）

⇒企業であればメンバーの選択・排除が可能だが、地域づくりはそこに暮らす住民全体にかかわるもの。必ずしも同じ目的をもった人ばかりが集まるわけではない。

4. 安心安全な暮らし～「守り」「見守り」に関わる取組を行うためのシステムと人材

①日常生活の中で、必要なサービスを享受できているかどうか。

←多層な「場」が存在することによって、どこかの層で「守られ」る。

家族、友人、職場、サークル、井戸端会議、消防団、NPO 活動・・・。

⇔「無縁社会」：こうした層が薄くなっている。単層化

②セイフティ・ネットに穴を開けないための人材と取組

- ・「守り」「見守り」に取りこぼしがいないか。セイフティネットの網のほつれを知る
- ・単層化、孤立する人々に対するアウトリーチ。「声かけ」と「繋ぎ」
(⇔「申請主義」の限界)
- ・組織間での横のつながり、連携、情報共有

③フラットな組織、複層的な組織とその連携

(NPO 法人マミーズネットの事例)

- ・核となる人材を複数配置した柔軟な参加の仕組み
- ・井戸端会議型の建設的な話し合いシステムとそれを支える研修プログラム
- ・行政の信頼と NPO の情報ネットワークを活用した企業研修プログラム
- ・多層な組織、関係の併存と、それをつなぐ「通訳」の必要性
- ・専門家相互の言語を「翻訳」し、伝える人材

5. イベントや経済活動を通じた活性化～「攻め」の取組を行うためのシステムと人材

①参加者は意欲とやる気のある者を中心に始められる

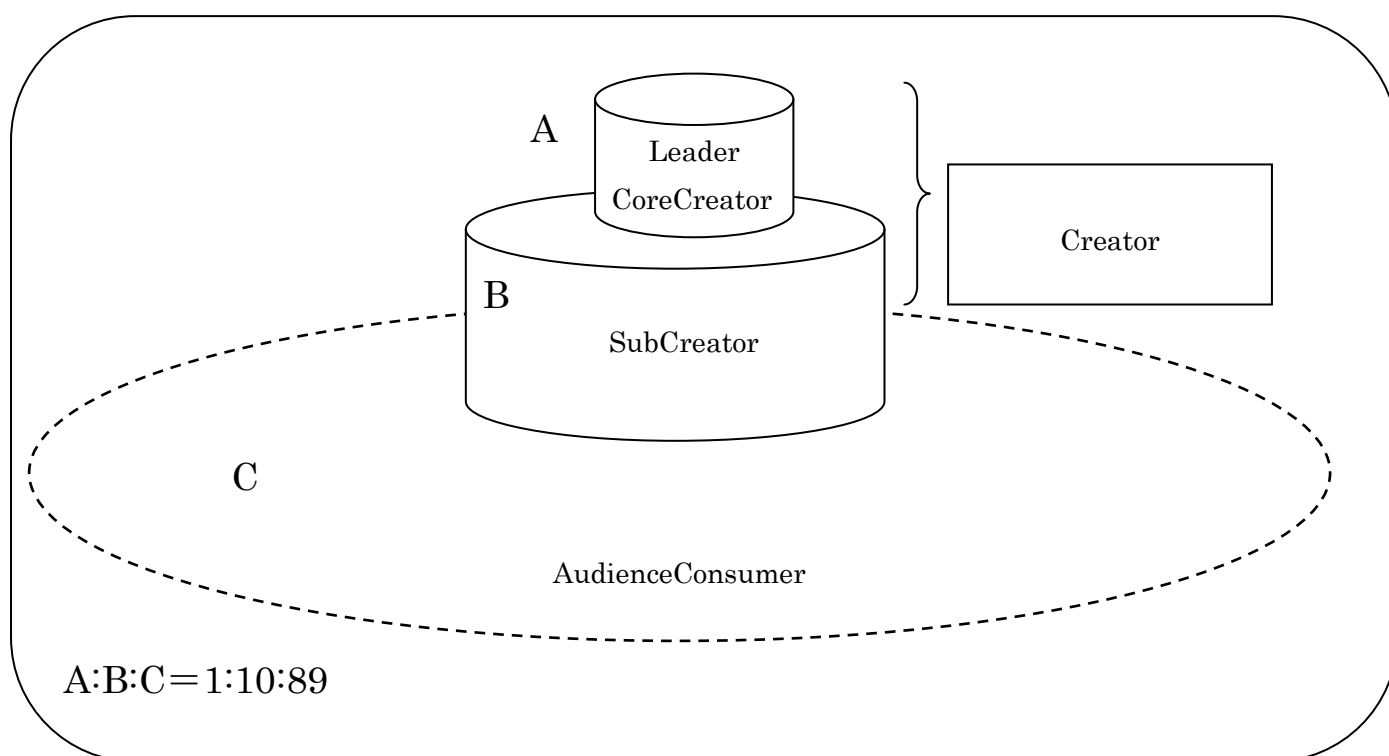
- ・複層的に多様なプログラムの構築
- ・域外からの人材・ノウハウ・情報を入手

②多様で柔軟な参加の仕組み

(NPO 法人ハットウ・オンパクの事例)

- ・容易に参入退出可能（初期コストが低い）な参加の仕組み
- ・やりたいことをやりたい形で始める
- ・トライ・アンド・エラーが可能
- ・一参加者、企画者、管理運営者（重層的で多様な参加のシステム）
- ・多様な担い手が取組を推進し、交流・連携を図る場の創出（プラットフォーム）
 - リーダーとクリエイターの存在
 - 一参加者がクリエイターになるきっかけと場づくり

参照：図 クラウドソーシングの構造



出典：古川純子「クラウドソーシングのメカニズム 知識経済における公共財供給の自発

(財) 地域活性化センター及び全国地域リーダー養成塾について

1 (財) 地域活性化センターの概要

(1) センターの性格

(財)地域活性化センターは「活力あふれ個性豊かな地域社会を実現するため、まちづくり、地域産業おこし等、地域社会の活性化のための諸活動を支援し、地域振興の推進に寄与する」ことを目的とし、全地方公共団体と民間企業・各種団体が一体となって、昭和60年10月に設立された総務省（旧自治省）許可の財団法人です。

(2) センターの所在等

住所：〒103-0027 東京都中央区日本橋2-3-4 日本橋プラザビル13階

交通：東京駅八重洲北口より徒歩4分、地下鉄日本橋駅B3出口より徒歩1分

TEL：03-5202-6134 FAX：03-5202-0755

ホームページアドレス：<http://www.chiiki-dukuri-hyakka.or.jp>

2 全国地域リーダー養成塾の概要

全国地域リーダー養成塾は、様々な分野で既存の枠にとらわれない斬新かつ大胆な発想のできる地域のリーダーを養成するため、平成元年に旧自治省、関係各位のご協力のもとに誕生し、以来、すでに695名の感性豊かな実行力のある地域リーダーを養成してまいりました。その成果は、各界から高く評価されています。

【理念】

広い視野と深い見識、卓越した想像力と豊かな人間性を備え、常に問題意識と確固たる使命感を持ち、積極的・主体的に行動のできる地域のリーダーを養成します。

【特徴】

(1) 体系的研修

「地域をとりまく時代の潮流」、「分権改革の推進」、「実践的地域経営論」、「福祉サービスの供給基盤と財源」、「地域の再生とデザイン」、「地域経済の振興と自立」のテーマを中心に、地域づくりに必要な研修を体系的に行います。

(2) 実践を重視した実務型研修

通常の講義のほか、ファシリテーション研修、論理的思考・表現力研修などのグループ演習を取り入れ、専門家、行政・民間の実践家などの多彩な講師陣が実践を重視した研修を行います。

(3) 地域の将来を模索する少数精鋭の研修

主任講師による少人数のゼミナール形式の講座を開講し、調査・研究に取り組み、成果を修了レポートにまとめます。きめ細かい指導により、「自ら考える力」を養います。

(4) 修了者への支援

研修修了後も、修了者の資質向上、ネットワークの構築のため、修了者研修会（一般研修と合同開催）、修了者情報交換会（全国5ブロックごとに開催）等を実施します。

【研修システム】

(1) 期 間：平成 22 年 5 月から平成 23 年 2 月まで

(2) カリキュラム

①一般研修（会場：東京）

5 月・6 月・7 月・8 月・10 月・12 月・2 月に各 3～4 日間で、年 7 回行います。

地域づくりの専門家・実践家等による講義、参加型演習を行うほか、ゼミナール形式の講座により、主任講師の指導のもと、テーマに沿った調査・研究を行い、成果をまとめた修了レポートを作成します。

②現地視察（7 月の第 3 回一般研修[合宿研修]）

首都圏における「特色を活かしたまちづくり」についての先駆的な事例を視察調査するとともに、実践者から講義を受けます。

③修了者との合同研修（10 月の第 5 回一般研修）

修了者及び現旧の塾長・主任講師が一堂に会する「修了者研修会」において、分科会及び特別講義により自己啓発や意識の高揚を図ります。

④特別講義

各界から著名人を招聘した講義を行います。なお、講義は地域活性化センターの会員に公開します。

⑤先駆的地域づくり現地調査（10 月中旬～11 月中旬にかけて 2 泊 3 日、5 コース）

ゼミナール別に、全国各地の地域づくりの先駆地を訪問し、地域づくりのキーパーソンなどを通じて地域づくりの問題解決策を学びます。

⑥ゼミナール特別研修（1 月に 1～2 日、5 コース）

ゼミナール別に、1 年間の研修の成果をレポートとして作成するため、主任講師から最終的な指導を受けます。

⑦海外研修（9 月上・中旬のうち 10 日間程度を予定）

希望者により、欧米におけるまちづくり、地域福祉、環境保全の活動などの事例を学びます。

【講師】

塾 長	大森 彌	（東京大学名誉教授）
主任講師	山下 茂	（明治大学大学院教授）
	後藤 春彦	（早稲田大学教授）
	小田切 徳美	（明治大学教授）
	大杉 覚	（首都大学東京教授）
	沼尾 波子	（日本大学教授）

問合せ先：(財)地域活性化センター 研修交流課

課長：林 担当：松澤

〒103-0027 東京都中央区日本橋 2-3-4

日本橋プラザビル 13 階

TEL：03-5202-6134 FAX：03-5202-0755

E-mail：matsuzawa@jcrd.jp

◆ 平成22年度全国地域リーダー養成塾カリキュラム

第1回	日程	5月12日(水)～5月14日(金)
	研修科目	塾長講話 「地域をとりまく時代の潮流」 大森 彌 塾長
		地域活性化センター理事長講話、分権時代の行政運営の手法、男女共同参画時代の地域づくり の講義
		開講式、主任講師によるオリエンテーション を実施
第2回	日程	6月2日(水)～6月4日(金)
	研修科目	主任講師講義 「分権改革の推進」 大杉 覚 主任講師
		分権時代と人づくり(塾長講義)、私の自治実践論、少子高齢時代の地域づくり、地域コミュニティの再生 の講義
		ファシリテーション研修(グループ演習)、ゼミナール(第1回) を実施
第3回 (合宿研修)	日程	6月29日(火)～7月2日(金)
	研修科目	主任講師講義 「実践的地域経営論」 山下 茂 主任講師
		環境と共生の地域づくり、コミュニティビジネス、民間の実践的組織運営 の講義、住民参加と協働、地域活性化のための情報化戦略 の講義
		論理的思考・表現力研修(グループ演習)、地域づくり団体等によるまちづくり事例の現地視察 を実施
第4回	日程	8月4日(水)～8月6日(金)
	研修科目	主任講師講義「対人社会サービスの供給基盤整備と予算・財源」沼尾 波子主任講師
		地方財政の健全化とその対策、NPOの活動の現況とその課題、コンパクトでにぎわいあふれるまちづくり の講義
		地域資源活用研修(講義・グループ演習)、ゼミナール(第2回) を実施
海外研修		9月上・中旬(10日間程度) 希望者により欧米のまちづくりなどを訪問調査
第5回	日程	10月6日(水)～10月8日(金)
	研修科目	主任講師講義 「地域の再生と景観デザイン」 後藤 春彦 主任講師
		福祉のまちづくり、広報の効果的な手法 の講義
		修了者との合同研修(分科会、実践者による特別講義)、ゼミナール(第3回) を実施
先駆的地域づくり 現地調査		10月中旬～11月中旬(2泊3日) ゼミナール別に国内の先駆事例地を訪問調査
第6回	日程	12月1日(水)～12月3日(金)
	研修科目	主任講師講義 「地域経済の振興と自立」 小田切 徳美 主任講師
		実践的危機管理、移住・交流による地域活性化、農山漁村活性化実践報告、景観とまちづくり の講義
		各界の著名人による特別講義、ゼミナール(第4回) を実施
ゼミナール 特別研修		1月(1泊2日) ゼミナール別に修了レポートの最終指導
第7回	日程	2月1日(火)～2月4日(金)
	研修科目	修了レポート発表、塾長・主任講師による講評 修了式、修了者支援事業説明会 を実施

◆ 平成21年度全国地域リーダー養成塾講師一覧(敬称略)

テーマ等	講師	
塾長・主任講師講義		
地域をとりまく時代の潮流	大森 彌	東京大学名誉教授
分権時代と人づくり	大森 彌	東京大学名誉教授
実践的地域経営論	山下 茂	明治大学大学院教授
地域の再生とデザイン	後藤 春彦	早稲田大学教授
地域経済の振興と自立	小田切 徳美	明治大学教授
分権改革の推進	大杉 寛	首都大学東京大学院教授
福祉サービスの供給基盤と財源	沼尾 波子	日本大学教授
一般講義		
理事長講話	石田 直裕	財団法人地域活性化センター理事長
私の自治実践論	牧野 光朗	飯田市長
少子高齢時代の地域づくり	小川 全夫	山口県立大学大学院教授
男女共同参画時代の地域づくり	萩原 なつ子	立教大学教授
景観とまちづくり	西村 幸夫	東京大学教授
行政改革の新展開	辻 琢也	一橋大学大学院教授
地域活性化のための情報化戦略	飯盛 義徳	慶應義塾大学准教授
環境との共生によるまちづくり	高野 雅夫	名古屋大学大学院准教授
民間の実践的組織運営	阪口 克己	武田薬品工業株式会社総務人事センター所長
公会計改革と財政健全化	小西 砂千夫	関西学院大学大学院教授
福祉のまちづくり	長谷川 美香	有限会社3カエバーサルデザインオフィス取締役社長
地域コミュニティの再生	名和田 是彦	法政大学教授
NPOと行政との協働	世古 一穂	NPO法人NPO研修・情報センター代表理事
これからの中心市街地活性化	横森 豊雄	関東学院大学教授
実践的危機管理論	大塚 康男	市町村アカデミー客員教授
住民の参加と協働	林 泰義	株式会社計画技術研究所所長
コミュニティビジネス	政所 利子	株式会社社玄 代表取締役
移住・交流による地域活性化	宮口 侗迪	早稲田大学教授
農山漁村活性化実践報告	畦地 履正	株式会社四万十ドラマ代表取締役社長
特別講義		
小江戸・川越「蔵のまち」を活用したまちづくり	原 知之	NPO法人川越蔵の会代表理事
公開講義	井村 雅代	井村シンクロナイズドスイミングクラブ代表
グループ演習・現地調査		
ファシリテーション研修	石塚 雅明	株式会社石塚計画デザイン事務所代表取締役
論理的思考・表現力研修	西部 直樹	有限会社N&Sラーニング代表取締役社長
地域資源活用研修	須川 一幸	株式会社地域振興研究所代表取締役
現地調査	宇山 正幸	株式会社まちづくり三鷹シニアマネージャー